

■返礼品競争 総務省が自粛求める

総務省が新年度入り早々、好きな自治体に寄付する「ふるさと納税」の「行き過ぎ自粛」を求め、通知を出した。寄付に

対するお礼に商品券やパソコンなど特産品とは言いがたい品が目にするためだ。2008年の制度導入から8年。納税者の支持を受けて順風満帆だった制度はどこで一線を踏み外したのか。

幼児向け教育ソフト・タブレット(多機能携帯端末)「iPadミニ」付き、健康センターの入浴回数券付きデジタルカメラ。日本有数の漁港を抱える静岡県焼津市。ふるさと納税の寄付者に送る返礼品リストに並ぶ品物は自慢の海産物だけではない。

「隠すような表記だが、実質は家電の返礼だ」(東北のある市)との批判もある同市は「市内業者が扱う商品が対象。特産品にはこだわらない」との

ふるさと納税 曲がり角

考えに立つ。現在は市内約100社が返礼品を扱い、15年度の同市への寄付は38億円と全国トップクラスになった。

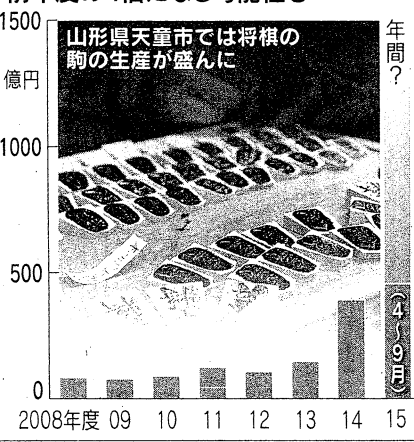
パソコンが目玉

ふるさと納税による寄付は急増中だ。15年4月9月は453億円と14年度年間の389億円を半年で超えた。15年度の通年では14年度の約4倍に膨らむと予測される。

返礼品競争も過熱している。「4月8日よりV A I O製ノートパソコン6機種をお礼の品に追加

「ふるさと納税による寄付は急増中だ。15年4月9月は453億円と14年度年間の389億円を半年で超えた。15年度の通年では14年度の約4倍に膨らむと予測される。

ふるさと納税による寄付額は15年度は前年度の4倍になる可能性も



「宴の後」税収展望どう描く

お金の流れをつくる「焼

「通知の意図を理解してくるはず」と期待し細

「ジェラートのセットは8個と16個を用意して

「黙っていられないのは

「自治体は自分で自分の

「商品の練習とみなし、

「税が減る。寄付をする

「自治体は自分で自分の

「商品の練習とみなし、

「税が減る。寄付をする

「自治体は自分で自分の

「商品の練習とみなし、

「税が減る。寄付をする

「自治体は自分で自分の

「商品の練習とみなし、

「税が減る。寄付をする

「自治体は自分で自分の

「商品の練習とみなし、

「税が減る。寄付をする

「自治体は自分で自分の

「商品の練習とみなし、

「税が減る。寄付をする

「自治体は自分で自分の

「商品の練習とみなし、

「税が減る。寄付をする

「自治体は自分で自分の

「商品の練習とみなし、

「税が減る。寄付をする

「自治体は自分で自分の

「商品の練習とみなし、

「税が減る。寄付をする

「自治体は自分で自分の

「商品の練習とみなし、

「税が減る。寄付をする

「自治体は自分で自分の

「商品の練習とみなし、

「税が減る。寄付をする

「自治体は自分で自分の

「商品の練習とみなし、

「税が減る。寄付をする

「自治体は自分で自分の

「商品の練習とみなし、

真相深層

通販の練習台に

「ジェラートのセット

は8個と16個を用意して

消費者の反応を見てみよ

う」。3月中旬、市の担

当者は市内のジェラート

店店長の男性とこんなや

りとりをした。同市は返

礼品をインターネット通

販の練習とみなし、事業

者にはニーズを踏まえた

商品開発、曜日・時間指

定の配送など通販仕様を

徹底的に求めている。

中小・零細が多い同市

の事業者は通販の経験が

夫が不可欠」と指摘して

いる。(杉本耕太郎)